

平成24年12月定例教育委員会会議録

(1) 開会及び閉会に関する事項

平成24年度12月19日(水) 三好市教育委員会 会議室
開会 午後14時00分
閉会 午後15時30分

(2) 出席委員の氏名

委員長 小松 正 委員長職務代理者 岡本 佳代子
委員 森本 久美子 委員 谷 敏司
教育長 倉本 淳一

(3) 委員及び傍聴人を除くほか、議場に出席した者の氏名

◆出席職員

教育次長 田岡 啓子
学校教育課長 伊原 清幸 スポーツ健康課 辺見 進一
学校教育課企画監 湊 政己 文化財課長補佐 加藤 昌子
生涯学習課主任 石井 敦大

◆傍聴人 0名

(4) 議事録署名者の指名

岡本 佳代子 委員

(5) 報告事項

①教育長等の報告要旨

(倉本教育長)

11月22日、西井川小学校で校舎建設説明会を実施いたしました。岡本委員さんにもご出席いただきました。ありがとうございました。今回は第2回目になりまして、外観について、保護者や地域の方々と協議しました。

11月27、28日の2日間にかけて、総合体育館で文化芸術体験事業、文化庁が主催いたします、合唱の講演をいたしました。東京合唱協会から約30名くらい来ていただいていた素晴らしい合唱でした。27日が小学校、28日が中学校の児童生徒に聴かせることができました。

12月1日、東みよし町の方へ体育館の事故に遭われた方へのお見舞いに田岡次長と辺

見課長と私の3人で行ってまいりました。その後、経過良好と聞いております。

12月3日、議会の開会ということですが、議会関係につきましては、田岡次長の方よりまとめて報告をいたします。

12月4日、中央公民館で市人推協役員会がありまして、現地視察等についての協議がありました。

12月6日、徳島県の管理職員協議会の要望を受けました。小松委員長さんの方へも要望がきておりますので、お渡ししておりますが、来年度の退職者からは、60歳から61歳までの間、年金が出ないということで、教育委員会で退職者を積極的に雇用して欲しいというような要望がございました。

12月10日から11日は議会の代表・一般質問でございます。

12月13日、小・中校長会を開催いたしました。これは人事異動に伴う提出書類等の事務的な説明と教育委員会からは指示・連絡としていくつか申し上げました。例えば1つは学校経営において守りの経営から攻めの経営に取り組んで欲しいということです。例えば、市教育委員会から指示があつて動くのではなく、他で問題が起きたときには、自分の学校にも起きるかもしれないと想定して、それについての体制を整える、点検チェックすることが攻めの経営であるというお話をさせていただきました。これからの学校経営の方向性として、私の考えは、1つ目は安心・安全な学校づくりというのが方向性としてあるのではないかと。2つ目は、特色ある学校づくり。これは三好市が取り組んでいるオンラインスクール。3つ目が、開かれた学校づくり。三好市では、学校支援ボランティアを立ち上げていますが、これらを活用するといった、3つの方向性を頭に入れて学校経営をしていって欲しいと申し上げました。

今日の議題にもなっていますが、三好市の教育委員会の重点施策との関連も出てくると思いますので、そういうことも話をさせていただいた。

行事予定ですが、ご案内がいつているかもしれませんが、12月23日、13時30分から保健センターで徳島駅伝結団式がございます。

1月3日から6日までの4日間にわたって県内一円で徳島駅伝が開催されます。1月3日は開会式のみで、11時から徳島のホテルクレメントで行われることになっております。

1月4日金曜日、13時から総合体育館で成人式がございます。これも今日、担当課より連絡があると思いますがよろしくご出席をお願いします。

次回、定例教育委員会は1月24日木曜日と考えているのですが、いかがでしょうか。

(委員)

大丈夫です。

(倉本教育長)

では、24日でお願いします。以上でございます。よろしくをお願いします。

②平成24年12月市議会について(報告)

(田岡次長)

それでは、12月議会について報告いたします。

今回は一般質問が1件、西内議員からあり、次長が答弁いたしました。

市内にある体育館など社会体育施設の運用体系や使用料金についての質問内容でありました。市内には社会体育施設として体育館、運動場等21施設あり、使用料なども旧町村のまま踏襲され統一化が図られていない現状である。そのため、料金の統一化など運用面について審議する協議会を立ち上げると答弁いたしました。

12月17日には文教厚生常任委員会が開催され、今回提案しておりました学校・幼稚園設置条例の一部改正について質問があり、学校教育課長が答弁いたしました。質問内容は、廃校となった経緯とその後の方向性や休校としてのこの学校の今後の状況について、またそれらの学校備品管理等についてでありました。

今後の議会日程としては、市有財産査活用調査特別委員会が明日、12月20日にあり学校教育課長が、また指定管理者制度調査特別委員会が12月21日に生涯学習課長がそれぞれ出席、26日閉会の予定です。以上、報告とさせていただきます。

(小松委員長)

何か報告事項についてご質問はございませんか。

(谷委員)

指定管理は公民館などの公民館長ですか。

(田岡次長)

生涯学習課がいま管轄している指定管理は、ふるさと交流センターの部分についてです。

(6) 議題および議事の概要

【議題】

- ① 11月定例会議事録の承認について
- ② 人事案件（校長、教頭）について
- ③ 三好市指定文化財の指定について
 - ・有形民俗文化財「徳善からくり襖絵」
 - ・天然記念物（植物）「高ノ瀬オオヤマレンゲ群落」
- ④ 大野小学校の休校について
- ⑤ 三好市教育委員会重点施策について
- ⑥ 東祖谷小中学校落成式について
- ⑦ その他

(小松委員長)

議題の方に入りたいと思います。議題① 11月定例会議事録の承認についてです。議事録は事前に送っていただいておりますが、どうでしょうか。

(伊原課長)

校正につきましては、昨日と今日といただき、内部でも確認しましたので、また来月署名をいただきたいと思います。

(小松委員長)

基本的に承認ということで、字句修正をし、来月また署名ということでお願いします。

次に、議題②人事案件についてということで、これは秘密会でしょうか。

(倉本教育長)

秘密会をお願いします。

(小松委員長)

この件については、秘密会ということで議事録よろしくをお願いします。

(秘密会)

議題②の秘密会と解きます。

次に議題③三好市指定文化財の指定についてです。

(加藤課長補佐)

文書は答申が2部、部会長からの報告が2部あります。

(小松委員長)

先に、徳善のからくり襖絵の方からよろしくをお願いします。

(加藤課長補佐)

12月13日に文化財の審議がありました。そこで、会長の方より、徳善からくり襖絵と高ノ瀬オオヤマレンゲ群落の答申を出していただきましたので、今日の教育委員会で諮りたいと思います。

からくり襖絵の方からお願いします。

三好市文化財指定申請に係る答申について。平成23年7月25日付三好市教文第113号により諮問のありました申請物件について、三好市文化財保護審議会で調査、審議した結果、次のとおり答申いたします。

1 申請物件

- | | |
|------------|------------------|
| (ア) 申請年月日 | 平成23年5月10日 |
| (イ) 種別及び名称 | 有形民俗文化財 徳善からくり襖絵 |
| (ウ) 所在地 | 三好市西祖谷山村徳善105番地 |
| (エ) 申請者 | 徳善襖絵からくり舞台実行委員会 |
| (オ) 所有者 | 申請者に同じ |

- (カ) 管理者 申請者と同じ
(キ) その他 別紙調査報告書資料のとおり

2 答申に係る経過

- (ア) 平成23年11月30日 (水) 専門部会(第2部会)部会審議
(イ) 平成24年8月23日 (木) 専門部会(第2部会)による現地調査(徳善から阿見羅堂まで)及び聞き取り調査
(ウ) 平成24年10月23日 (火) 専門部会(第2部会)調査結果報告
(エ) 平成24年12月13日 (木) 平成24年文化財保護審議会において専門部会報告に基づき、審議した結果、出席委員11名全員により結審する。

3 答申

三好市内に残る貴重な歴史的文化遺産の保存、継承が危惧される今日にあつて、申請物件はまとまった数の襖絵が保存されており、県下に残る数少ないからくり襖絵として、舞台では操作、特に転換方法にも特徴があり民俗的にも価値があるといえる。

こうした文化財を後世に保存していくため、市指定有形民俗文化財として指定されることが望ましい旨、答申します。

次に高ノ瀬オオヤマレンゲ群落です。

平成23年1月25日付三好市教文第232号により諮問のありました申請物件について、三好市文化財保護審議会にて調査、審議した結果、次のとおり答申いたします。

1 申請物件

- (ア) 申請年月日 平成20年12月1日
(イ) 種別及び名称 天然記念物(植物)高ノ瀬オオヤマレンゲ群落
(ウ) 所在地 三好市東祖谷菅生 三嶺国有林(36林班イ小班)
(エ) 申請者 NPO 法人剣山クラブ
(オ) 所有者 四国森林管理局
(カ) 管理者 三好市教育委員会
(キ) その他 別紙調査報告書資料のとおり

2 答申に係る経過

- (ア) 平成23年6月29日 (水) 専門部会現地調査
(イ) 平成23年7月29日 (金) 専門部会審議
(ウ) 平成23年8月23日 (火) 指定に関する同意申請

- (エ) 平成23年9月21日 (水) 指定に関する同意書
(オ) 平成23年9月25日 (日) 指定に関する同意書
(カ) 平成24年10月23日 (火) 専門部会 (第3部会で審議)
(キ) 平成24年10月29日 (月) シカ除けネット設置作業
(ク) 平成24年12月13日 (木) 平成24年第2回文化財保護審議会において専門部会報告に基づき審議した結果、出席委員11名全員により結審する。

3 答申

三好市内に残る貴重な歴史的文化遺産の保存、継承が危惧される今日にあつて、申請物件は三好市と那賀町の境に位置する高ノ瀬の東祖谷菅生側の北斜面や尾根筋に生息する貴重なオオヤマレンゲの群落地であり、これまでも関係機関や保存団体との手によって時期や群落地が適正に保護されている。オオヤマレンゲは徳島県の絶滅危惧種に指定されており、四国有数の群落地であり記念物的にも価値があると言える。こうした文化財を後世に保存していくため、市指定天然記念物(植物)として指定されることが望ましいので答申します。

この2件が、会長の方から出てまいりましたので、お願いいたします。

(小松委員長)

まず、からくり襖絵の方からこの答申に対する審議と承認という形で出ていると思いますが、どうでしょうか。

(岡本委員)

専門家が見ていいと言っているのです、いいと思います。

(谷委員)

審議員が全会一致なので、我々が特に何かいう理由はないような気がします。

(小松委員長)

答申通りこれによって三好市の有形民俗文化財としての承認をするということですかね。次にオオヤマレンゲ群落について、こちらはどうでしょうか。

(岡本委員)

10月29日のシカ除けネット張りは三好市教育委員会がしたのですか。

(田岡次長)

行ってきました。参加者は、NPO 剣山クラブ、徳島県森林管理署、三好市教育委員会関係者の約50人が上がってネットをかけたりました。

(岡本委員)

管理者は三好市教育委員会となっておりますが、費用はこちらが出したのですか。それとも所有者の四国森林管理局が出しているのですか。

(加藤課長補佐)

事業としては、そうです。

(岡本委員)

それで一緒に行って作業したのですね。遠いですよね。

(田岡次長)

上りが3時間半でした。

(倉本教育長)

1本、1本ネットを巻いて、さらにその周りにネットを張る。かなり大変な作業です。

(岡本委員)

三嶺にこの秋に上がりましたが、ずっとシカ除けネットを張っていました。それから1本1本にもネットを張っていました。

(倉本教育長)

それだけ価値があるのだと思います。

(岡本委員)

絶滅危惧種2類とかが群落となると、1本とかではないので価値があると思います。

(田岡次長)

花自体は6月くらいに咲くそうです。

(小松委員長)

管理はNPO法人の剣山クラブの方でしていただけるのですか。

(加藤課長補佐)

一緒にさせていただきます。

(小松委員長)

毎年行くのですか。

(岡本委員)

状況を見にいかなくてははいけませんよね。

(森本委員)

ネットは自分達で運んだのですか。

(谷委員)

持っていったのですか。

(田岡次長)

ネットはヘリコプターで先に運んでもらっていました。

(小松委員長)

他にご意見はございませんか。こちらの方も承認ということでもよろしくお願ひします。

文化財になったら教育委員会としても管理の責任がありますので、よろしくお願ひします。

次の議題に移ります。議題④大野小学校の休校についてです。

(伊原課長)

大野小学校は、昨年PTAや地元の方と協議をして平成26年から休校することになっていきますので、教育委員会の方としましては、平成25年度の予算に計上するようになります。それから教育委員会で正式に平成26年から休校ということをご承認いただきたいと思います。

(小松委員長)

平成26年からですか。

(倉本教育長)

平成26年度からです。

(小松委員長)

25年度は存続ですか。

(伊原課長)

はい。指定校についての協議、条例規則の改正についてはまだ先ですが、今回の承認というのは25年度の中で、休校をする経緯についての予算計上の関係がありますので、教育委員会で26年度の休校ということで承認をしていただきたい。

(小松委員長)

どうでしょうか。

(委員)

いいと思います。

(小松委員長)

休校は地元からですよ。

(倉本教育長)

そうですね。

(岡本委員)

地元協議が出来ているということですね。

(倉本教育長)

余談になりますが、来年政友小学校の入学者がゼロになる。1、2年制がいなくなるので、3、4、5、6年の2学級。後、2年経つと5、6年の1学級になりますので、学校としての存続が難しいかなと思います。

(森本委員)

お母さんが政友小学校に通って、子供を連れていま帰ってきているのですが、政友小学校に入ってくれたらいいのですが、山城小学校へ行くというようなことを聞きました。

(倉本教育長)

特によそから帰ってきた人は、小さい学校に対して慣れていないといいますが、不安があるかもわかりません。

(森本委員)

通えば近いところです。

(岡本委員)

何年生ですか。

(森本委員)

まだ小さいです。

(岡本委員)

ですが、周りの子どもがいないのであれば、その子1人になる可能性がある。1年、2年経ったら友達がいらないという環境になってしまう。

(小松委員長)

来年、話がいろいろと進むかもしれないですね。

(倉本教育長)

そうですね。急に進む可能性もありますね。

(小松委員長)

政友小学校の耐震の方がどうなのでしょう。

(倉本教育長)

政友小学校は新しいので、大丈夫です。

(森本委員)

政友小学校は環境もいいところにあるのですよ。

(小松委員長)

馬路小学校や川崎小学校などの話は変わらないのですね。

(倉本教育長)

耐震工事が川崎小学校は終わりました。馬路小学校は来年度行います。工事をしてすぐ休校というわけにはいかないですよ。保護者も頑張って統合しないと言っています。

(小松委員長)

大野は従来から統合が出ていましたけど、政友がでるかもしれない。それ以外のところは当分ないということですか。

(倉本教育長)

数が少ないのは、井内小学校とか川崎小学校、馬路小学校です。

(岡本委員)

可能性としてはその3校ですかね。この間、吉野川市が新聞に計画的に統合していく。学校の数を半分くらいにするみたいですね。

(倉本教育長)

美馬町も出ていましたね。

(岡本委員)

美馬市は地元から計画を早く実行してくださいと言っているのですね。

(倉本教育長)

旧美馬町を1校にする。美馬市を1校にするのは無理ですね。

(小松委員長)

一時、私達も美馬市が1校にするといい、それは無理なのではと思いました。

(岡本委員)

美馬町は学校がすごく接近しているのですよね。

(小松委員長)

4校くらい残っていますよね。

(倉本教育長)

接近して学校があるところはうらやましい。三好市は学校が遠いため難しい。

(小松委員長)

休校問題については以上で終わりたいと思います。

次に、議題⑤三好市教育委員会重点施策についてです。よろしくお願いします。

(伊原課長)

平成24年度の三好市教育委員会重点施策については、後ろに資料をつけさせていただいております。

(倉本教育長)

これについては、毎年お願いをしているのですが3月の末に各学校へ配布をしたいということで、見直しをしていただいています。下線の部分が今年度訂正をした部分になります。毎年、大きく変えるというものでもないと思いますが、1年経つと矛盾したところが出てきます。7ページであれば、東祖谷小・中学校が統合しましたので、そここの書き換えが必要です。1度、目を通していただいでください。こちらでも見直しますが、2月までに目を通していただいでご意見をいただければと思います。

(小松委員長)

去年の重点施策の時だったか、評価のことでいろいろ議論したと思うのですが、その時に教育長の方から、オンリーワンスクールとステップアップについてやり方とかをちょっと考えてみたいという話があったと思うのですが。

(倉本教育長)

去年私が言ったのは、各学校で設定をしているのですが、我々の考えているような形になってない部分もあって、例えば池田小学校は、以前はICT教育というのをオンリーワンにしていたのですが、校長先生が変わった途端にそれが違うものになってしまった。総務省の絆プロジェクトでずいぶんとICTの環境が整っているのに、それが全くテーマから外れてしまったということもあり、各学校にまかしているよりも教育委員会の方より指定をして課題を与える方がいいのかなというご提案をいたしました。しかし、岡本先生より学校の主体性にまかせるべきとご意見もあり、それはそうかなというところで終わっていたと思います。

(小松委員長)

このこととすぐに繋がるかどうかはわかりませんが、最近感じたのですが、つい1週間

くらいだったかと思いますが、学力調査の国際比較が出て、日本はいままでずっと下がってきっていたのが上がり気味になったということで、ゆとり教育の見直しの効果が出てきたという書き方で新聞に出ていたのですが、その中の項目の課題として、特に理系。理科、数学、算数、これが小学生は勉強が好き楽しいというけれど、中学生になると極端に日本の場合は下がっている。当然、その影響として日本の中学生で算数とか数学とか理科を使うような仕事に就きたいという子どもも海外に比べて極端に少ない。課題などがあるように思いますね。それを重点施策で取り上げるというのはちょっと難しい問題なのですが、学校の抱えている問題としてそういうものがあるのではないかと。理数系に対しての興味とか特に中学生、本来だったら専門の先生がするはずなので、よりわかっておもしろくなくていけないのだが、そうなっていないということだとか、それと知識については上がっているのだろうけど楽しい授業だとか、自分で勉強する喜びについてはまだまだ課題が残っているなど感じたのですが、そのことをここに入れるかは非常に難しいと思いますが、オンリーワンとかいろいろある中でももう少し楽しい授業というか、授業に意欲的に取り組めるような内容を入れていければいいと感じました。

(倉本教育長)

今、おっしゃったことは、学習ということからすれば大事なことだと思うのです。この間エドバイザーの会議をした時に、ある小学校でヴォルティスの選手が来てサッカーの授業をしていた。その時に、ヴォルティスの選手は技術も高いが子どもだからといってあまり遠慮しない。強いボールを蹴ったりする。教員だと身体の弱い子や小さい子どもに配慮したりするがそれをしない。強いボールが1人の子に当たったみたいですが、その子はすぐに起きてプレイに参加していった。見ている先生は、日頃あの子はああではないのにとビックリしていた。結局、楽しいので学習に向かっている。エドバイザーの会議でも常に話題になるのですが、学校訪問しても先生方の指導が、教える教育になっている。学ばせる教育の方向へ転換をしていかななくていけない。それはお互い共通の理解ができていましたので、学校現場でもそれは言っていたのですが、やはりそういう形が望ましいのだと思います。それから先程、小松委員さんが言われたオンリーワンの内容で、教育委員会が主体性をもってやるのがいいのか、学校にまかせるのがいいのかということですが、短期間に効果求めて、学力にしても体力にしてもやるということになれば、ある程度教育委員会が強力な指導をしないとなかなか難しい。四国の教育長会や徳島の教育長会でも、話を聞いてみると割合、教育委員会が主体性をもってやっている。そのかわり、そのための教育委員会が財政的な支援をするというような形でやっています。

(岡本委員)

指定校みたいな感じでどこを重点的に、例えば池田小学校にICTの事業をしているのであれば、その事業に相まって指定校としてその分野でリーダーになってもらうような教育をしていく。三好市全体にとすると、学校の実情も違うし環境も違う。

(倉本教育長)

私が言っているのは、三好市の各学校の独自性を出すというのはそれはそれでいいと思います。もうひとつ、三好市の場合、他と比べて一番特色があるのはICT教育です。これを三好市の教育の特色作りとしてICTを各学校に打ちだしていく。一方では、各学校が考えるオンリーワンスクール、もう一方では教育委員会が考えるオンリーワンスクールの2本立てでという方法もあるのかなと思前話をしました。

(岡本委員)

それはそれで市の独自性と言いますか、県下から見れば三好市の特色ですのですね。

(倉本教育長)

現在、学校へはICT教育については押し付けてない。活用して欲しいとは言っていますが、特徴を出せと教育委員会から押さえてない。

(谷委員)

学校訪問をしていてオンリーワンスクールとステップアップスクールのテーマを聞いただけで、かなり理解してオンリーワンがあってそれに対するステップアップを理解されている学校と、まだまだ理解されていない学校がありますよね。その辺を先程も言われたようにもう少し教育委員会がリーダーシップを発揮して、なにかしなければいけないのかなと私も感じます。徹底できていないですよ。

(倉本教育長)

合併してからずっとオンリーワンしてきて本当にそれぞれの独自性が出ているかどうか。今、おっしゃったように学校訪問へ行った時にもうひとつだなと感じる。

(小松委員長)

学校訪問した時に、最近ほとんどの学校が知育・徳育・体育の3つであるパターンができていくような気がします。これは県教委が出しているのか、全国でああいうパターンになっているのかわからないが、1つのものは学校としてあるのですよね。どこの学校でも3つをきっちりやっていけば、学校としてやるべきものが全て入っていると思いますが、さらにその上にオンリーワンをどのような形で入れていくかというのは、もう1度整理しなくてはいけないのではと思います。その中で1つ出していくのかこの3つがあるからその中でどのように入れてくれということで各学校に自主的にまかしていくのかは難しいところです。

(倉本教育長)

知・徳・体はいま文科省の方で生きる力の育成というのを全面にうちだして、生きる力を子ども達につけるといのは大きな目標になっています。生きる力っていうのは何かというと、いわゆるたしかに学力と、豊かな心とたくましい体という知・徳・体なのです。教育は知・徳・体とバランスの取れた子どもを作るといことですね。その中でいろいろな考え方があって、学力はうちは弱いから学力を伸ばしていく学校作りと、ここは自然が豊かで環境に恵まれているので、豊かな心で読書教育なんかをやる。それだけをやるだけではダメなので、それぞれバランスを取ってしなければいけない。それを例えば方法として

ICTを使ってやるという方法もある。そのあたりもまた見ていただいて、ここに力を入れればいいのではないかとか直した方がいいのではとかを1月にご意見をいただきたいと思います。

(小松委員長)

この件についてはどうでしょうか。また、考えてくるということによろしいでしょうか。

(倉本教育長)

この件については事務局だけでなくみんなで考えていただきたい。

(森本委員)

置かれている学校の環境も全然違いますしね。

(倉本教育長)

そうなのです。特に三好市の場合、環境が大きく違うので、そこからオンリーワンスクールはスタートした。ところが、みなさんにやっていただいて、それぞれの学校の実情も我々も分かってきて、学校の力、子どもの力、教師の力をもうワンランク上げるために何かいるのではないかという気がしている。

(森本委員)

三好市教育委員会が目指すものは、こういったものですよという方針的なものはあるのですか。

(倉本教育長)

それがこの三好市教育委員会重点施策です。これが基本理念であり、基本目標であり、あるいは基本方針になってくる。

(森本委員)

三好市教育委員会のオンリーワンスクールやステップアップとかの考え方は、やはり新しく来られた先生方によく理解していただかなくてはならない。

(倉本教育長)

説明する機会というのがあまりない。校長先生方には話をする機会があるんですが、先生方に直接話をすることがほとんどないので、校長先生を通じて説明してもらうことになる。そのため、徹底していないところもあるのではないかと思います。

(森本委員)

そうなるもつたいないですよ。初めにこういう概念だということのを頭にきっちりを入れていただいて、先生の負担になるのではなく、児童・生徒のために必要なものだからということで、先生の取り組み方にも攻めの教育が出来てくるのではないかと思います。私達が目指しているオンリーワン、ステップアップを先生方にもきちんと頭に入れていただきたい。実際、子どもの教育をしている先生方に受け止めていただくのが重要なことだと思います。

(倉本教育長)

私の教職経験から言えば、失礼な言い方になるかもしれませんが、どこの市町村教育委

員会でも教育方針を作っているのですが、毎年見直したりっていうのはしていないのではないかと。学校に対しても徹底はあまりないと思います。

(岡本委員)

日頃の仕事に追われるので、最初の職員会で校長先生が初心表明をすれば、みんなも徹底的に思うと思う。

(倉本教育長)

このようにみなさんに毎年見てもらって、改善したりして、また学校に提示しているところは、昔は少なかったと思う。これについては、三好市教育委員会は随分、重点施策を大事にしてやっていっているのです、その点私は自信を持っていいと思っています。

(谷委員)

校長先生が、どれだけこれを親身になって考えてくれるか。受け取ってくれる温度差がかなりある。

(倉本教育長)

やはりどういう学校を作るか、どういう子どもを作るかの理念を持って学校を運営することが一番大事なことだと思うんです。これはそのあたりでどうでしょうか。

(小松委員長)

はい。では次の議題⑥東祖谷小中学校落成式についてです。お願いします。

(伊原課長)

今年度で校舎、体育館などが完成する予定です。日程としては平成25年の年明け2月3日日曜日の午後2時から式典の予定をしております。案内はまた正式に送らせていただきます。当日はバスを東祖谷まで出す予定になっております。また、バスに乗られるか直接行かれるかという返事も集約させていただきますが、教育委員の皆様、スケジュールの方をよろしくお願いします。

(小松委員長)

日程の方の予定をお願いします。次にその他に移ります。

(伊原課長)

成人式のことについてお願いします。

(鈴木課長)

1月4日、例年の通りではございますが、成人式を行う予定です。今年度も約300名の該当者出席する予定になっております。今年度は例年と少し手直ししております。昨年、不手際があったのですが、その不手際を反省しまして今年度は生演奏で国歌斉唱ということになりました。

(倉本教育長)

去年は国歌が途中まで流れなかったのですかね。

(鈴木課長)

はい。機械の不備で君が代の伴奏が流れなかった不備がありましたので、今年度はそれ

がないようにということで、成人式該当者に伴奏していただこうと改めております。それと、昨年まで続いておりましたビデオレターですが、先生方のご都合もあったりいろいろと事情もありまして今年度はビデオレターに代わりまして、先生から直接のメッセージをいただいてそれを該当者が読み、それに合わせてスクリーンに担任の先生の顔写真や卒業アルバム等々を上演する。それを見ながらメッセージを読むということに変えております。あと最後に、アトラクショナルな意味合いで該当者全員で合唱をして場を盛り上げようというようなことを考えております。そういった点で例年より若干、時間が少し長くなるかもしれませんが、流れで行きますので、長くなるか短くなるかちょっと微妙なところです。いつもご心配いただくのですが、成人式の服装等でございますが、一応式典でございますので委員の皆様には平服の正装ということでよろしいかなと思います。

(岡本委員)

去年も平服でしたね。

(森本委員)

黒でなくてもいいですよ。

(岡本委員)

黒でなくてもいいと思いますよ。スーツくらいでいいと思います。

(倉本教育長)

できるだけ式典にふさわしく式服に近いようなもので、それぞれのご自由でお願いします。

(小松委員長)

男性は黒のスーツで行っても大丈夫ですね。

(鈴木課長)

もう1点でございますが、11月の定例会でご提案させていただいております、防犯カメラの件でございます。その際にご指摘と言いますがご指導いただいております点につきまして、若干の修正をさせていただきますご審議ができればと思っております。三好市教育委員会が設置する防犯カメラの管理運用に関する要綱の資料を見ていただきまして、11月に提案させていただいたものが旧ということで、新しいものを新ということで右側に記載させていただきました。マーカーで色をつけさせていただいているところが新に変更、追加があったところです。第7条のところに、「また保管した画像の加工、改編をおこなってはならない」という文を追加させていただきます。第9条、第10条の市長というところを教育長に改めさせていただきます。また、これを新しく修正してご審議をお願いします。

(倉本教育長)

当初は、教育委員会だけの問題という風に考えて要綱を作ったが、市長部局の方よりこれは他にも作る可能性があるとおっしゃった。例えば、フレスポのようなところとか駅前など。そういうことになれば、条例を制定しておかなければいけないので、1回向こうで

検討したために責任者は市長となった。初めは教育長だったのですが、それが直りました。結局、審議しているうちに、とりあえず教育委員会が先行して実施するかということで、また元に戻した形になりました。初めてのことで、個人情報のことなどいろいろな問題がありますので、後からまた字句の訂正など大筋には変更ないと思うのですが、その辺の了解をいただいて、こういう形で要綱を作って設置をするというご理解をいただければありがたいなと思います。

(鈴木課長)

補足といいますか追加ですが、一応この件に関しましてはウエノ地区になりますが、治安会の方からの要望をいただいております。現在考えているところは、上野が丘の小学校から中学校の間、東側からと西側からということで設置するというようなことで考えております。

(小松委員長)

第7条の保管についてなのですが、この保管というのは2週間以内の保管のことを言っているのですか。それとも何かあってそこからさらに再記録をしたということなのですか。

(鈴木課長)

ほとんど考えられるケースではまずないと思うのですが、2週間の中のうちを調べるといふ形になると思います。

(小松委員長)

何か事件・事故があったとして、その時にカメラから外部記録装置に取り出したと、それを事故検証なり事件の検証に使ったとなった場合に取り出した映像はどうなるのですか。

(鈴木課長)

10条のところを見ていただいたら、「第7条の規定を準用する。ただし、前項の目的を達成するため、教育長が必要と認めたときは、第8条に規定する保管期間を経過して保有することができる。」という言い回しになってはおります。

(小松委員長)

その場合は、別に施錠できる保管庫があるのですか。

(鈴木課長)

保管するということですので、そういう形です。

(岡本委員)

通常はカメラに内蔵されているということですよ。

(鈴木課長)

データとしてSDカードと言いまして小さいメモリーカードに入れます。

(谷委員)

第7条の保管は、カメラ事態で保管という形になるのですか。2週間分は保管されて、それに上書きしていく形になるのですよね。

(小松委員長)

取り出したデータは。

(谷委員)

取り出したデータはどこか鍵のあるところに保管という形になりますよね。

(鈴木課長)

そうです。何もないとデータを取り出すことはありません。

(小松委員長)

これを考える時は、何かあるということを前提にするのだから取り出したことを考えなくてはならない。

(倉本教育長)

例えば1か月前に何か事件・事故があったという時には役には立たないわけですよね。

(鈴木課長)

そうですね。14日間だけの保存になります。

(岡本委員)

次々と古いのから消えていくのですか。

(鈴木課長)

そうです。上書きされていきます。

(倉本教育長)

池田小学校、池田中学校あたりで起こる事件・事故は大体子どもの連れ去りとかのようなものだろうと思います。

(小松委員長)

見るなら事故なり事件の直後ですよね。

(岡本委員)

ひき逃げの場合は、逃げているので気が付いてからちょっと時間が経つ。

(倉本教育長)

あの道路はスクールゾーンになっている。朝、池田幼稚園、小学校の前に車がどんどん入ってくる。あれの抑止効果になるのではないかと思っている。

私が池田中学校へ勤めていたとき、朝、校門の前であいさつするために立っていて、車を止めても止まらない。スクールゾーンというのは知っているのに、知らん顔して行く。裁判所の横にグラウンドへ行く道がある。あの場所からがスクールゾーンになります。真面目な人はあの場所からUターンして帰る人もいるが、そうでない人が多かった。

(岡本委員)

カメラがあるということで、それ自体が抑止効果に繋がるということになりますよね。カメラ設置と書いてあれば、どこにあるかわからないが、怪しいことはできないなという気持ちになります。

(谷委員)

ダミーのカメラを置くだけで違うと言います。

(森本委員)

防犯カメラを増やしていくと傾向がありますよね。

(倉本教育長)

そうですね。防犯カメラはすごいですね。犯人割り出したりしている。

(小松委員長)

都会の事件だとすぐに防犯カメラが出ている。

(岡本委員)

すごいですよね。映像も不鮮明だと感じるが、あれを解析して捕まっていますよね。

四国は地域的に万引きが多いらしいです。その万引きに何が効果があるという防犯カメラもそうですが、やはり最後は人と言いますね。店の人が声をかける。怪しい人に何かお探しでしょうかなど声をかけて近づいたり対応することで、人に見られていると思う。犯罪をする人は人に見られるのが怖い。カメラだとカメラを避けたらいいが、人というのはどこから現れるかわからない。学校でも誰かきたら声をかけるとかそういう対応をよく言われました。

(倉本教育長)

空き巣もそうみたいです。空き巣に入る人から言えば、あいさつされたら知り合いかなと思って入れないみたいです。

(岡本委員)

やはり人間は人間が怖いですね。知らない人だなと思っても親しく声をかけるというのが大事なのですね。

(伊原課長)

1件だけ追加議案があります。委員長、この件については秘密会でお願いします。

(小松委員長)

この件については、秘密会でお願いします。

(秘密会)

(小松委員長)

この件については、承認をお願いします。

(倉本教育長)

辺見課長余談ですが、この間の校長会の時に学校教育課の方から、申請があれば子ども手当から給食費を引き落とせるという説明をしておりましたので、もしそういう滞納者がいれば引き落とせるのか。

(辺見課長)

その時の会の時に、給食費の問題につきましては、該当者が少ないというような形で、子ども手当は振り込みになっていますが、その該当者があれば現金渡しに変更していただ

いて、市役所で渡す時に徴収する。いまの現状としては少ないと言えれば少ない。少ないので、そういう対応でいくかどうか。該当者と話をして、振り込みを現金渡しに変えてもらう。市役所のところで子ども手当を渡すところで、そこへ納付書持って徴収する。仮にの話で現状ではありません。

(倉本教育長)

学校教育課と話ができていればいいのですが、この間の校長会に課長はいなかったので、いま報告しておきました。

(小松委員長)

その他について、他に事務局の方ございませんか。

(伊原課長)

以上でございます。

(小松委員長)

では以上で定例会を終わります
お疲れ様でした。

以上